

今年度は16名の方が南会津に訪れました!



南会津ふるさと ワークステイ通信

【第6号 発行】
令和元年12月2日
福島県南会津農林事務所

平成24年度から実施している「南会津ふるさとワークステイ事業」は今年度**8年目**となりますが、11月20日をもって、参加者募集を終了しました。

受入農家の皆様、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

4月の事業開始以降、**16名**の方々が、受入農家指導のもと、南会津の大自然の中でトマト・りんごの収穫や、稲刈り作業などを体験しました。

「ワークステイに参加して移住・就農を考えようと思った。」方が6名いらっしゃったことをはじめ、「来年も参加したい。」「いろんな季節に南会津を訪れたい。」など、今後の更なる交流につながるうれしいお言葉をたくさんいただきました。

これまでの参加人数

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)
参加者数	12	8	17	10	5	15	19	16
受入登録農家数	6	5	16	14	11	10	11	12

New!

南会津町伊南地区 受入農家1軒増えました!

今年度より、平野さんが受入農家として事業に協力していただけとなりました。

平野さんはソバ、りんご、プラム、赤カブ、サツマイモなど幅広く作物を育てています。

9月に受入していただいた際、参加者はりんごの葉摘み、野菜の収穫をお手伝いしました。



1 事業の紹介

当事業は、南会津地方の農林家等に宿泊しながら、受入農家の方と一緒にいる農作業等を通して、田舎暮らしから新規就農を見据えた本格的な農作業まで体験できる、「お試し」的な新規就農支援事業です。

日程や希望する農作業の内容など、受入に関する調整事務は、当事務所企画部が窓口となって行います。なお、ワークステイ期間中の参加者の費用負担は、基本的にありません。



(1) コース内容 ※H31(R1)実績 チャレンジコース(4名)、猫の手コース(12名)

チャレンジコース

本格的な就農も視野に入れた実践コース



「就農を考えており、農作業をトコトンやってみたい方」「類似事業の参加経験豊富な方」はオススメです!

猫の手コース

とりあえず体験してみるお気軽コース



「土いじりをするのは初めて」「農作業や田舎暮らしを体験してみたい」という方はオススメです!

(2) 平成31年度(令和元年度)受入募集期間

平成31年4月1日(月)～令和元年11月20日(水)

(3) 平成31年度(令和元年度)参加者内訳

※町村別参加者数 下郷町(2名)、只見町(4名)、南会津町(10名)

番号	性別	年齢	職業	滞在開始	滞在終了	滞在期間	受入農家	町村	主な作業内容
1	男	44歳	会社員	H31.4.20	H31.4.20	日帰り	月田 禮次郎	南会津町	しいたけの植菌
2	女	50歳	会社員	R1.5.3	R1.5.5	2泊3日	湯田 孝義	南会津町	苗床の填圧作業
3	男	44歳	会社員	R1.5.18	R1.5.19	1泊2日	山内 征久	只見町	ハウスの管理
4	男	26歳	公務員	R1.6.1	R1.6.3	2泊3日	星 由夫	下郷町	りんごの摘果
5	女	27歳	会社員	R1.6.20	R1.6.23	3泊4日	馬場 徹	南会津町	ハウスの管理
6	男	66歳	無職	R1.8.3	R1.8.5	2泊3日	馬場 徹	南会津町	トマトの収穫
7	女	39歳	公務員	R1.9.18	R1.9.19	1泊2日	酒井 陽臣	南会津町	トマトの収穫
8	男	21歳	学生	R1.8.20	R1.8.26	6泊7日	目黒 大輔	只見町	トマトの収穫
9	男	21歳	学生	R1.8.20	R1.8.26	6泊7日	目黒 大輔	只見町	トマトの収穫
10	女	50歳	会社員	R1.8.12	R1.8.14	2泊3日	酒井 陽臣	南会津町	トマトの収穫
11	男	50歳	公務員	R1.8.25	R1.8.27	2泊3日	馬場 徹	南会津町	トマトの収穫
12	女	49歳	パート	R1.8.25	R1.8.27	2泊3日	馬場 徹	南会津町	トマトの収穫
13	女	39歳	無職	R1.9.14	R1.9.17	3泊4日	平野 恒二	南会津町	りんごの葉摘み、野菜の収穫
14	男	42歳	会社員	R1.10.26	R1.10.27	1泊2日	目黒 大輔	只見町	トマトの収穫
15	男	47歳	自営業	R1.10.14	R1.10.14	日帰り	佐藤 政和	南会津町	スターチス、カスミソウの出荷準備
16	女	27歳	無職	R1.11.9	R1.11.11	2泊3日	星 由夫	下郷町	りんごの収穫

2 参加者アンケート結果 (有効回答数12名)

(1) 本事業を知ったきっかけは何ですか？

内容	人数	備考
ホームページ	5	おいでよ南会津、南会津ふるさとワークステイ
新聞・雑誌	0	
友人・知人からの紹介	2	大学の先生の紹介
その他	5	新・農業人フェア、移住セミナー

(2) 参加を決めた理由は？ (複数回答)

内容	人数
居住地に近い	0
体験内容に関心があった	11
福島県に関心があった	2
南会津地方に関心があった	6
移住を検討している	7
食費・宿泊費を抑えられる	2
農業について学ぶため	8
その他	0

(3) ワークステイを体験して、

どのように感じましたか？ (複数回答)

内容	人数
田舎暮らしをもっと体験したい	4
移住・就農を考えようと思った	6
都市と農村の交流を続けたい	3
南会津地方の魅力を感じた	7
農業についてより一層興味が湧いた	10
移住・就農は考えていない	0

(4) 農作業の感想等 (抜粋)

感想

- ・非常に有意義な時間だったので、定期的に参加したい。
- ・南会津についての情報を私なりに発信していきたい。
- ・食事がとてもおいしく、親しく接していただき楽しいワークステイ体験だった。
- ・体験を生かして、農業という職の魅力これからの人たちに伝えていけたらいいな、と思った。
- ・都市しか知らない私にとって、ワークステイはとても貴重な機会となった。
- ・今後も接点をもちつつ、このような事業を通して農業や農村地域とかかわっていきたい。
- ・食べること、働くこと、気候や季節を感じることで、そして人や地域とかかわることが、すべての生活の中で繋がっているという基本的なことに気づかされた。
- ・農作業が実際どれほど大変なのかを実際に体験し、知ったということが大きい。
- ・本格的な農作業体験を通し、早起きのつらさや作物の扱いの大切さを学んだ。
- ・今後は移住に向けて、空き家の状況やスーパー病院などのライフラインの下見をするつもりだ。来年訪れる予定である。
- ・農業は大変だけどやりがいがあると感じた。また、すべてを支える奥様や家族に感動した。
- ・こまめに休憩を入れるなど、いろいろ気を遣っていただきうれしかった。
- ・体験をとおして一日のワークライフや就農・施設のスケールが確認できる。
- ・このような機会でしか農家のプロに教わり体験できる機会が無いのでとても良かった。
- ・すべての作業を体験してみたくなった。受け入れてくださった農家さん心から感謝している。
- ・就農移住について親身になって話を聞いていただいた。農家さんから暖かい言葉をいただいた。
- ・型にはまらず、色々な経験をさせてもらえて良かった。親戚のような距離感で接していただいたので、居心地よく楽しく過ごせた。

3 PR活動

管内町の友好都市・姉妹都市でのホームページ、パンフレットでの周知、県のホームページや、東京の「日本橋ふくしま館」「福が満開、福しま暮らし情報センター」でのパンフレットで、広く参加者を募集しました。

また、全国から農業法人や市町村等が参加する「第1回新・農業人フェア」(7/27東京会場)や「就農フェスト」(8/4東京会場)に出展しました。

今年は4名の方が「新・農業人フェア」でのPRがきっかけでワークステイに参加しました。

今後は「第4回新・農業人フェア」(1/25東京会場)でPRする予定です。



【新・農業人フェア(7/27東京会場)の様子】

4 農家民泊開設に関心がある方へ

南会津地方では、他県などからの小・中学生等を受け入れて、農村生活を体験してもらう「**農家民泊**」の推進にも積極的に取り組んでおります。

子どもたちに南会津の魅力や農作業の楽しさを教えてみませんか？

ご興味のある方は、当所企画部までお気軽にお問い合わせください！



受入農家交流会開催します！

今年度のワークステイ事業及び次年度事業構築に向けて、受入農家皆様のご意見を頂戴するため、令和2年3月上旬頃に受入農家交流会を開催する予定です。

是非、ご参加願います！

※詳しい開催日時等は後日お知らせします。



編集後記



受入農家の皆様、参加者との交流はいかがでしたか？

今年の参加者は昨年度に比べ減少しましたが、本格的に移住したいという方が多くおられました。

今年度都合がつかず、受入ができなかった農家さんについては、どうか次年度も継続して事業へのご協力をお願い申し上げます。

寒さに向かう時節柄、くれぐれもご自愛ください。

(担当 石井)

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256